

男女共同参画センター機能強化に関する検討部会（第2回）

明日をひらく都市
OPEN X PIONEER
YOKOHAMA

本日の流れ

- 1 第1回部会のまとめ
- 2 男女共同参画センターの機能と市との役割分担について
（第1回部会でご指摘のあった追加検討項目）

男女共同参画センター機能強化に関する検討部会（第2回）

1 第1回部会のまとめ（※資料1「第1回部会における意見整理」参照）

- （1）アウトリーチの拡充
- （2）企業・大学等、地域の関係機関・団体との連携
- （3）若年層や男性に対する取組
- （4）重点的に実施すべき事業
- （5）認知度の向上
- （6）適切な事業評価

男女共同参画センター機能強化に関する検討部会（第2回）

1 第1回部会のまとめ（※資料1「第1回部会における意見整理」参照）

（1）アウトリーチの拡充

主な意見

- ・アウトリーチは支援が届かない人（課題を抱えるが発見できない人）に対して行うものと、啓発的なものを分けて考えていく必要がある
- ・カスタマージャーニー※の視点を活かし、どのように実施するか検討する必要がある
※顧客がどのような経路をたどって商品やサービスを知り、購入し、さらに利用を続けるかの分析
- ・アウトリーチには関係機関との連携が有効であるため、連携を積極的に進める必要がある

男女共同参画センター機能強化に関する検討部会（第2回）

1 第1回部会のまとめ（※資料1「第1回部会における意見整理」参照）

（2）企業・大学等、地域の関係機関・団体との連携

個別の連携先が抱える課題を把握し、以下のような連携を進めるべき。

主な意見

- ・ 教育機関と連携して教員や児童生徒等のジェンダー平等に関する理解促進に取り組む
- ・ P T Aと連携し保護者のジェンダー平等や性教育に関する理解促進に取り組む
- ・ 保育園・幼稚園、医療機関と連携し保育士や助産師・看護師等のジェンダー平等に関する理解促進に取り組む
- ・ よこはまグッドバランス企業など市の認定業者等との連携を強化する
- ・ 地域防災拠点運営委員会等と連携し避難所運営の話し合い等に参加する
- ・ 地域ケアプラザと連携し、地域活動交流コーディネーターのジェンダー平等に関する理解促進に取り組む

男女共同参画センター機能強化に関する検討部会（第2回）

1 第1回部会のまとめ（※資料1「第1回部会における意見整理」参照）

（3）若年層や男性に対する取組

ア 若年層に対する取組（抜粋）

- ・リアルなコミュニケーションで話を聞いてもらう機会を欲している若者が参加しやすい、安心・安全な場をつくる
- ・ジェンダーに関する問題や小論文が入試で出題される、といったような時代の流れをうまくとらえたテーマ設定を行う（例：就職活動に役立つ、受験勉強に役立つなどのテーマ）
- ・大学内のサークルと連携した取組を行う

イ 男性に対する取組（抜粋）

- ・男性が利用するようなニーズに合致したテーマ設定と、開催時間の設定が必要
- ・地域住民の男性を味方につけることで男性に対するアプローチを進めて行く
- ・男性が参加しやすいよう、匿名で話ができたり、オンライン上のコミュニケーションや、お酒を飲みながら話ができたり、など、女性とは違ったやり方を模索していく

男女共同参画センター機能強化に関する検討部会（第2回）

1 第1回部会のまとめ（※資料1「第1回部会における意見整理」参照）

（4）今後重点的に実施するべき事業

実施事業については、横浜市のありたい姿に対しての現状があり、そこで起きている問題は何かということを確認しながら検討する必要がある。6次計画が重要なポイントになる。

主な意見

- ・性別に関わらず自分の体を尊重するべきであり尊重されるべきであることを、子どもに教える
- ・子供と一緒に保護者にも性教育をする、または保護者だけが性教育について知らない、と言える場を作る
- ・ジェンダー平等に関して、男女が話し合い、お互いの疑問をシェアしながら、自分の意識や、今後どうしていけばよいか、考える機会をつくる。また、こうした意見交換に同席し、適切に進められるコーディネーターを育成していく
- ・中高年シングル女性の住居支援等、困難女性に対する支援を強化していく

男女共同参画センター機能強化に関する検討部会（第2回）

1 第1回部会のまとめ（※資料1「第1回部会における意見整理」参照）

（5）認知度の向上

主な意見

- ・ 知ってもらうだけでなく、来館や事業利用のハードルを下げる必要がある。カフェがある、本が借りられる、居場所になるなどもあわせてPRする必要がある。
- ・ 高校等と一緒に事業を企画するなど、接点を増やすことで男女共同参画センターについて詳しく知ってもらう
- ・ 子供をまきこむ取組を増やす
- ・ 区民祭り等、地域イベントへの参加し男女共同参画センターの取組を紹介する

（6）適切な事業評価

主な意見

- ・ 講座参加者に事後アンケートを行い、意識や行動がどう変わったか把握する
- ・ 令和5年度に実施した施策検討調査を定期的に実施する

男女共同参画センター機能強化に関する検討部会（第2回）

明日をひらく都市
OPEN X PIONEER
YOKOHAMA

本日の流れ

- 1 第1回部会のまとめ
- 2 男女共同参画センターの機能と市との役割分担について
（第1回部会でご指摘のあった追加検討項目）

男女共同参画センター機能強化に関する検討部会（第2回）

2 男女共同参画センターの機能と市との役割分担について

【第1回部会でいただいた御意見】

機能強化において男女共同参画センターに求められることが多く、規模・予算の限界がある中では、すべて対応するのは難しいのではないか。以下の事項についても検討を行うべき。

ア 役割分担と連携（抜粋）

市がやることとセンターがやることの棲み分けが必要。そのうえで、行政内部のジェンダー主流化の理解を進めることで、各部署の事業にジェンダーの視点が入り、結果としてジェンダー課題に対する取組が全市的に進んでいくことになり、予算規模の拡大につながる。また、各部署がパイプとなり、大学や企業、市民社会側へのアプローチ手段も増えていく。

男女共同参画センター機能強化に関する検討部会（第2回）

2 男女共同参画センターの機能と市との役割分担について

【第1回部会でいただいた御意見】

機能強化において男女共同参画センターに求められることが多く、規模・予算の限界がある中では、すべて対応するのは難しいのではないか。以下の事項についても検討を行うべき。

イ 施設運営も含めた男女共同参画センター全体の機能（抜粋）

- ・ ストップする事業や、若者・男性向けなど増やしていく事業を選択していく必要がある
- ・ 地区センターなどと市民が誰でも利用できる施設との差別化を検討する必要があるのではないか。利用施設として活用してもらいつつ、男女共同参画のPRや協働事業に引き込む等、コーディネートしていくことも必要
- ・ 居場所や活動拠点としての重要性はあるものの、市民等の男女共同参画センターの利用目的は、その男女共同参画を目的としているとは言えないのではないか。施設利用も含めて男女共同参画センターの機能を確認し、十分活用されていない部分があるのであれば、そこを見直し新規・充実事業に振り向けることを検討した方が良いと思われる

ウ 市民活動等の支援（抜粋）

市民社会の活動を活発化していくため、グループでの活動を増やしていく必要がある。

男女共同参画センター機能強化に関する検討部会（第2回）

2 男女共同参画センターの機能と市との役割分担について

（1）男女共同参画センターの役割

「市との役割分担・連携」のもと

ア 男女共同参画の推進のための施策を実施

イ 市民及び事業者による男女共同参画の推進に関する取組を支援

【参考】横浜市男女共同参画センター条例

第1条 男女共同参画の推進に関する施策を実施し、並びに市民及び事業者による男女共同参画の推進に関する取組を支援するため、横浜市に男女共同参画センターを設置する。

【資料2】男女共同参画センター設立経過等について

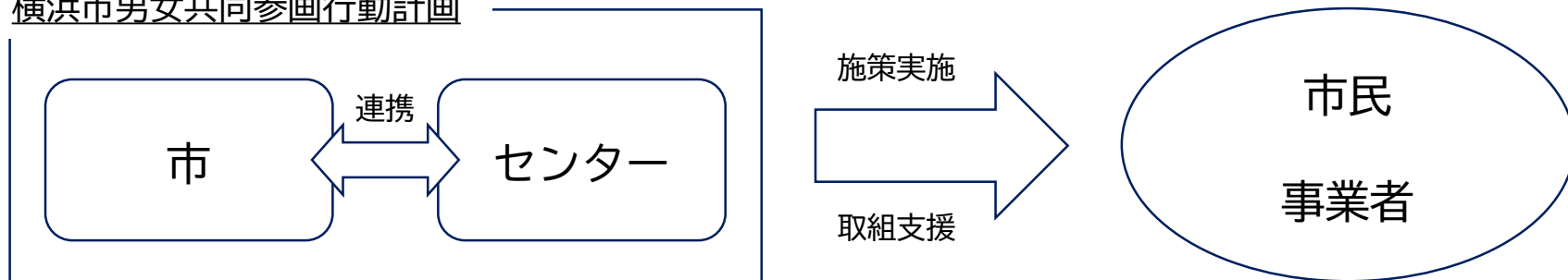
男女共同参画センター機能強化に関する検討部会（第2回）

2 男女共同参画センターの機能と市との役割分担について

（2）市との役割分担

横浜市男女共同参画行動計画に基づく施策を、市の区局統括本部と男女共同参画センターが連携して実施する。

横浜市男女共同参画行動計画



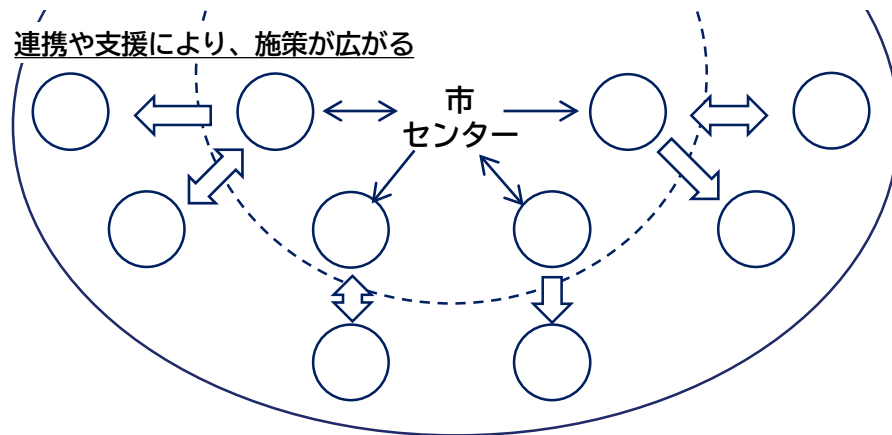
市の区局統括本部は男女共同参画の推進も重視しながら各部署の施策を実施する。男女共同参画センターは市の各部署との施策の重複に留意する。

男女共同参画センター機能強化に関する検討部会（第2回）

2 男女共同参画センターの機能と市との役割分担について

（3）市や関係団体等との連携

男女共同参画センターは、市やその他の行政機関、企業、地域団体、教育機関等、様々な主体と積極的に連携し、施策を実施する



政策経営局（男女共同参画推進課）は、庁内の関係部署や行政機関、教育機関等との連携を支援する

男女共同参画センター機能強化に関する検討部会（第2回）

2 男女共同参画センターの機能と市との役割分担について

（4）役割分担や連携における課題

課題	内容
様々な主体と連携した施策の実施	政策経営局（男女共同参画推進課）による連携支援を強化する必要がある
施策の重複	女性の健康支援、DV相談、男性の家事育児参画等、施策の一部が重複しているものがある 【資料3：他事業等との整理を検討すべきセンター事業】
市職員の理解促進	福祉相談窓口職員や地域防災拠点参与等、市民や地域と接する職員の男女共同参画に関する理解を促進していく必要がある
推進体制の強化	各区局統括本部が所管している男女共同参画に関するステークホルダー等を整理する必要がある。そのうえで、各局統括本部が男女共同参画センターと連携しながらステークホルダーに対する取組を進めて行く体制を構築する必要がある （男女共同参画センターはその専門性を活かして、講師派遣や事業企画、ステークホルダーのネットワーク化などの役割を果たす）

男女共同参画センター機能強化に関する検討部会（第2回）

2 男女共同参画センターの機能と市との役割分担について

（5）施設運営も含めた男女共同参画センター全体の機能に関する課題

課題

市民一人一人を対象とした支援事業が多く、市民及び事業者による男女共同参画の推進に関する取組支援が不足している。

令和5年度に実施した相談・講座等の事業数112のうち、取組支援に該当する事業は9

【資料4：令和5年度男女共同参画推進協会事業報告書】

- ・男女共同参画センターは、幅広い目的で施設利用が可能であるが、こうした利用が、男女共同参画の推進に結び付いているか不明確である。

令和5年度利用者数 約600,000人のうち、センター自主事業等の利用者数は約25,000人

【資料4：令和5年度男女共同参画推進協会事業報告書

資料5：令和5年度事業報告（男女センター主催事業 利用者数集計）

資料6：令和6年度 収支予算書】

- ・近隣住民の利用が多く、市域全体に施策を届けていくためには、アウトリーチを進めて行く必要がある。

男女共同参画センター機能強化に関する検討部会（第2回）

2 男女共同参画センターの機能と市との役割分担について

第1回部会でご指摘のあった追加検討項目について、事務局として現状や課題を整理しました。

検討と項目		役割分担の 明確化	行政内の 理解促進	各部署をパイプとした 連携強化	事業の選択	施設利用	市民活動の 支援
(1)	センターの役割	○					○
(2)	市との役割分担	○	○	○	○		
(3)	市や関係団体等 との連携	○	○	○			
(4)	役割分担や連携 における課題	○	○	○	○		
(5)	施設運営も含め たセンター全体 の機能に関する 課題			○	○	○	○

【検討いただきたい事項】

○現状や課題に関する意見

○課題解消に向けた取組や留意事項、等

第 1 回部会における意見整理

1 検討事項

(1) アウトリーチの拡充

- ア アウトリーチは支援が届かない人（課題を抱えるが発見できない人）に対して行うものと、啓発的なものと分けて考えていく必要がある。
- イ カスタマージャーニー（顧客がどのような経路をたどって商品やサービスを知り、購入し、さらに利用を続けるかの分析）の視点を活かし、どのように実施するか検討する必要がある。
- ウ アウトリーチには関係機関との連携が有効であるため、積極的に進める必要がある。

(2) 企業・大学等、地域の関係機関・団体との連携

個別の連携先が抱える課題を把握し、男女共同参画センターとの連携がその課題解決につながることを提案しつつ、以下のような連携を進めるべき。

- ア 教育機関と連携して教員や児童生徒等のジェンダー平等に関する理解促進に取り組む
 - ・小中学校の総合的な学習の時間を活用する
 - ・「こども政策の基本的な方針等を定める大綱」に基づく取組と位置付ける
 - ・教員の意識啓発から始めて児童生徒につなげる
 - ・学校に提案しやすいよう、学校向けのプログラムを作成する
 - ・ジェンダーセンター等を有する大学との協働事業を行う
- イ P T A と連携し保護者のジェンダー平等や性教育に関する理解促進に取り組む
 - ・地区 P T A の講演会等の機会を活化した取組を行う
- ウ 保育園・幼稚園、医療機関と連携し保育士や助産師・看護師等のジェンダー平等に関する理解促進に取り組む
- エ 企業との連携
 - ・学生のニーズを把握し、企業に情報提供する
 - ・SDGs の達成に向けて連携する
 - ・子供向けのイベントを開催することで企業の協力を得る
 - ・横浜市貢献表彰企業・よこはまグッドバランス企業・横浜健康経営認証事業所との連携を強化する
- オ 地域防災拠点運営委員会等と連携し避難所運営に男女共同参画の視点を取り入れていく
 - ・パンフレットを作成し、説明しながら、地域防災拠点の会議等に参加し、訓練や話し合いを通じて行動変容につなげていく
- カ 地域ケアプラザと連携し、地域活動交流コーディネーターのジェンダー平等に関する理解促進に取り組む

(3) 若年層や男性に対する取組

- ア 若年層に対する取組
 - ・若者向けのリーダーシップ講座を開催する
 - ・部活に参加する若者が参加しやすいよう、平日夜に講座等を開催する。
 - ・若者限定の取組であることを伝えて若者が参加しやすくする

- ・リアルなコミュニケーションで話を聞いてもらう機会を欲している若者が参加しやすい、安心・安全な場をつくる
- ・ジェンダーに関する問題や小論文が入試で出題される、といったような時代の流れをうまくとらえたテーマ設定を行う（例：就職活動に役立つ、受験勉強に役立つなどのテーマ）
- ・若者向けの事業企画に若者に参画してもらう
- ・自由に出入りできる自習スペースを設け、来館した若者に事業を案内したり、市やセンターの事業に参画してもらう
- ・男女共同参画週間や女性に対する暴力をなくす運動等の機会をとらえて若者が運営に参画するイベントを開催する
- ・大学内のサークルと連携した取組を行う
- ・若者や男性が男女共同参画を自分事としてとらえることのできるような、身近なできごとを取りあげた広報・啓発を行う

イ 男性に対する取組

- ・男性が利用するようなニーズに合致したテーマ設定と、開催時間の設定が必要。
- ・不妊症に悩む男性に対する相談を行う
- ・男性の家事育児参画については、子育て支援と重複している。世代や就業状況、子供の年齢等に応じたきめ細かいテーマでコミュニティづくりに取り組むなど、差別化が必要。
- ・地域住民の男性を味方につけることで男性に対するアプローチを進めて行く。
- ・男性が参加しやすいよう、匿名で話ができたり、オンライン上のコミュニケーションや、お酒を飲みながら話ができたり、など、女性とは違ったやり方を模索していく。

(4) 今後重点的に実施すべき事業

実施事業については、横浜市のありたい姿に対しての現状があり、そこで起きている問題は何かということを確認しながら検討する必要がある。6次計画が重要なポイントになる。

ア 性別に関わらず自分の体を尊重するべきであり尊重されるべきであることを、子どもに教える
 イ 子供と一緒に保護者にも性教育をする、または保護者だけが性教育について知らない、と言える場を作る

ウ 不妊治療や出産・子育てについて夫婦や未婚の男女が話し合う機会を設ける。

エ ジェンダー平等に関して、男女が話し合い、お互いの疑問をシェアしながら、自分の意識や、今後どうしていけばよいか、考える機会をつくる。また、こうした意見交換に同席し、適切に進められるコーディネーターを育成していく。

オ 福祉的な支援の対象者の背景にジェンダー課題がある場合、支援制度に分断されず、横のつながりを持った支援ができるよう、社会福祉士等、福祉に関わる人材には、ジェンダー平等に関する知識を深めてもらう必要がある。

カ 中高年シングル女性の住居支援等、困難女性に対する支援を強化していく。

(5) 認知度の向上

ア 知ってもらうだけでなく、来館や事業利用のハードルを下げる必要がある。カフェがある、本が借りられる、居場所になるなどもあわせて PR する必要がある。

イ 高校等と一緒に事業を企画するなど、接点を増やすことで男女共同参画センターにについて詳

しく知ってもらう

ウ キャッチコピーやキャラクターを公募でつくる

エ 子供をまきこむ取組を増やす

オ 区民祭り等、地域イベントへの参加し男女共同参画センターの取組を紹介する。

(6) 適切な事業評価

ア 講座参加者に事後アンケートを行い、意識や行動がどう変わったか把握する。

イ 令和5年度に実施した施策検討調査を定期的実施する。

2 その他（議題設定以外のもの）

機能強化において男女共同参画センターに求められることが多く、規模・予算の限界がある中では、すべて対応するのは難しいのではないかと。以下の事項についても検討を行うべき。

(1) 役割分担と連携

市がやることとセンターがやることの棲み分けが必要。そのうえで、行政内部のジェンダー主流化の理解を進めることで、各部署の事業にジェンダーの視点が入り、結果としてジェンダー課題に対する取組が全市的に進んでいくことになり、予算規模の拡大につながる。また、各部署がパイプとなり、大学や企業、市民社会側へのアプローチ手段も増えていく。

(2) 施設運営も含めた男女共同参画センター全体の機能

ア ストップする事業や、若者・男性向けなど増やしていく事業を選択していく必要がある。

イ 地区センターなどと市民が誰でも利用できる施設との差別化を検討する必要があるのではないかと。利用施設として活用してもらいつつ、男女共同参画のPRや協働事業に引き込むなど、コーディネートしていくことも必要。

ウ 居場所や活動拠点としての重要性はあるものの、市民等の男女共同参画センターの利用目的は、すべて男女共同参画を目的としているとは言えないのではないかと。施設利用も含めて男女共同参画センターの機能を確認し、十分活用されていない部分があるのであれば、そこを見直し新規・充実事業に振り向けることを検討した方が良いと思われる。

(3) 市民活動等の支援

市民社会の活動を活発化していくため、グループでの活動を増やしていく必要がある。横浜市全体で男女共同参画に関する市民活動状況がどうなっているのか、洗い出しを行うべき。

【参考】男女共同参画社会の実現等に関する課題認識

○女性活躍について

女性活躍を進めていくためには、男性の家庭参画が必要。制度だけでなく、働き方などに関する企業の考え方が変わっていく必要がある。

○性暴力について

自分の体は尊重すべき、ということが大切。小学校も中学校もこうしたことを教えるのが難しい。大学でも私がこういう授業をしましと提案しても実現しない時がある。どうやったら少しでもこうした教育が進むか、考えてほしい。性別や性的志向に関わらず、「あなたの身体はあなたのものであってあなたのセクシュアリティっていうのは尊重されるべき」。だから「他の人も尊重されるべき」。こ

うした考え方が浸透していない。その中で、やってはいけないこと、言ってはいけないことばかり教えている。全ての人に対して差別はいけない、としないといけないのに、そうっていない。性被害にあった男性は誰にも相談できずとても苦しい状況に陥る。男はみんな加害者という勘違いをなくし、誰もが被害者、加害者になる可能性がある、ということを、最初に子どもに教えるべき。

今、性教育に関する保護者向けの絵本がとても売れている。保護者自身も性教育を受けておらず、実は気になっているものの、オープンな場で話題にしにくい。そのため、本を読んだり、SNS を活用しているようだ。子供と一緒に保護者にも性教育をする、または保護者だけが性教育について知らない、と言える場を作ることが大事ではないかを感じる。

子宮頸がん、乳がんについて、本来日本であれば防げるのに防げていない。女性特有のがんは女性の問題にされがちだが、子宮頸がんについては言えば、HPV は男性も関わることもある。こうしたことを親子で一緒に考えて一緒に行動していく、というような形もよいと思う。

○ジェンダー平等に関する教育・啓発について

3歳ぐらいにはステレオタイプができあがると言われている。赤ちゃんは、出産直後にリストバンドで青とピンクに分けられ。助産師さんの声かけも、男の子か女の子かで違う。助産師や看護師も、そういったステレオタイプをお母さん、お父さんに植え付けてしまっている可能性もあるのではないか。夫婦のパートナーシップもとても大切。母親だけしか病院に来ない場合がある。なぜお父さんは来ないのか。また、出産回数が多い場合、DVの可能性もある。妊婦に関わる医療関係者等に、啓発が必要と感じる。「こども政策の基本的な方針等を定める大綱」の基本的方針には、「性別にかかわらずそれぞれのこども・若者の可能性を広げていくことが重要であり、乳幼児期から心身の発達の過程においてジェンダーの視点を取り入れる」とある。こうした考え方も使っていきながら、子供たちが育ちの過程の中でジェンダーを学び、先生からも適切な声かけがされるような環境を作っていく必要がある。

ジェンダー教育というのは、女性のキャリア支援だけではない。ニーズの違いや、ジェンダーに関する様々な事象を理解できなかったり、理解できないことで問題が生じていることに対して、取り組むのがジェンダー教育。1人1人の、人権にかかわることで、日々のチョイスであったり、生活にとっても関係しているということを腹落ちしてもらうことが必要。他人事を自分事に変えてもらわないと、何も始まらない。

○避難所運営について

能登半島地震では、避難所運営には男女共同参画の視点を入れることになっており、マニュアルもありましたが、実際には、全く入っていなかったと聞いている。高齢になればなるほど、性別役割分業的な暮らしをされてきた方は多い。こうした方が中心になって災害時に防災避難所運営をして、性別役割分業的な要素が出て生きてしまうと、若い方は避難所で暮らしにくいと感じてしまう。

○ジェンダー平等に関する男女間の認識の違いについて

困難女性支援法、と聞くと、困難な状況にある女性のための施策を考えるというより、まず先に、「なぜ女性だけなのか」と考える方が多い。男性・女性問わず、必要な施策を考え、いろいろな取組をしている中で、それでもそこから零れ落ちてしまうものを掬うためにこの法律がある、と説明して初めて、それなら頑張ろうと、御理解を頂ける。

若い男性の中には、ジェンダー平等反対とは言わないものの、何となく嫌い、僕だって自分の好きなように生きたい、と思い、頭の中がもやもやしている人もいるはず。教え込もうとしないで、なぜそう

いうふうな形の意識があるのかという、根本の部分を手で探ってもらふようなアプローチをすすめていくべき。就職活動の際に、女子学生対象の説明会・インターンシップがあるのに、男子対象がない状況を見て、「自分たちがジェンダー不平等な社会を作ってきたわけではないのに、なぜ自分たち世代が被らなければいけないのか」と考える男子学生もいる。他にも、今の社会でなぜジェンダーなのか、自分たちは関係ないだろうという感覚を持っている若者はいるはず。こうしたテーマで話をし、今の社会構造について丁寧に説明をしながら、今の社会でどうしていけばいいのか、といったことを自分自身で考えるような機会があるとよい。自分たちも男だからつらい、といったことを言える機会を確保することもとても大切。

男女間のコミュニケーションギャップは深刻な状況と思う。男女ともに、こうに決まっているという思い込みがあり、お互い議論することができない。コミュニケーションギャップを、知識の時点で解消できるようにするとか、あるいはディスカッションする場を設けて意見を戦わせるなど、こうしたことが、男女共同参画センターの重要な機能になってくるのではないか。男女ともに一緒にいい社会を作る、というところに持っていけるよう、押し付けにならないよう、うまく進めて行くような事業が必要。

○男女共同参画センターの認知度について

男女共同参画センターが知られていないことは大きな課題。ジェンダーに関心高い若者でさえ、認知度は極めて低い。知らない、にもいろいろな形があります。そもそもセンターの存在を知らないという人もいる。また、知ってはいるけど、何をやるどころかわからないという人もいる。ジェンダーはわかるけど、男女共同参画は教科書で読んでもよくわからないという人もいる。センターについては、そもそも何をしている場所なのか全然知られていません。東京都も各地域のセンターの認知度はとても低い。まずはあらゆる方法で知ってもらうことが必要。

男女共同参画センター設立経過等について

1 設立経過

男女共同参画推進協会設立以来、市と男女共同参画センターを運営する協会が両輪となって施策を推進

年	月	経過
1986（昭和61）	4月	男女雇用機会均等法施行
1987（昭和62）	10月	財団法人横浜市女性協会設立
1988（昭和63）	9月	横浜女性フォーラム（戸塚区）開館
1999（平成11）	6月	男女共同参画社会基本法公布・施行
2001（平成13）		横浜市男女共同参画推進条例制定・施行
2005（平成17）	4月 9月 10月	横浜女性フォーラムを男女共同参画センター横浜に名称変更 横浜市婦人会館閉館。男女共同参画センター横浜南として開館 財団法人横浜市女性協会が財団法人男女共同参画推進協会と名称変更 男女共同参画センター横浜北（青葉区）開館
2008（平成20）	1月	配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律の一部改正施行（保護命令制度の拡充）
2011（平成23）	9月	横浜市DV相談支援センター開設

男女共同参画センター設立経過等について

2 男女共同参画推進協会経営ビジョン

基本戦略

- (1) 拠点施設や各現場での業務を通じて市民・企業から得られた情報等から、社会情勢や市民ニーズの変化を捉え、先行きを見越し、半歩先を見据えた施策・事業を提案・企画し、成果を発信します。
- (2) 固定的性別役割の抑圧から解放され、誰もが自分らしく生きられるよう、地域社会とともに課題解決に向けての取組を進めるとともに、一人ひとりの市民の力を引き出すサポートを行います。
- (3) 地域・学校・企業・NPO法人・行政など多様な主体との連携・協働等を通じて、男女共同参画の新たな担い手の創出・成長を支援するとともに、アウトリーチ等を通じて市域全体に向けて男女共同参画のすそ野を広げる推進役を果たします。

男女共同参画センター設立経過等について

3 第5期指定管理の5つの基本方針（協会提案）

事業	これまで通り、市民の課題・ニーズに対応するとともに		
	1 チェンジメーカーの育成	2 新たな層へのアプローチ	3 更なるインパクト創出
	チェンジメーカー（個人、団体）の発掘・育成に取り組み、市民による男女共同参画推進を後押しする	これまでセンターとのつながりの薄かった若者や男性、企業などと積極的に協働する	常に社会的インパクトを意識して事業の企画・実施を行うとともに、成果を市民にわかりやすく発信する

組織運営	事業をより確実に支えるために	
	4 ICTの積極的な活用	5 経営基盤の安定・強化
	ICTを積極的に活用して、市民サービスの一層の充実と業務の効率化に取り組む	経営ビジョン、人材育成方針にそって、経営基盤の一層の安定・強化に取り組む

男女共同参画センター設立経過等について

3 第5期指定管理における事業の特徴（協会提案）

ジェンダー主流化

多様なステークホルダーによる、男女共同参画・ジェンダー平等にかかわる課題の理解向上と行動変容を目指す

ここだけでなく

ここも重視

市民ひとりひとりとかわる

多様な関係者とともに変えていく

ニーズに対応

ステークホルダーへの
働きかけ

差別、排除の根底にある
構造的な **社会・経済の
仕組みに変化**を起こす

社会的インパクトを創出

他事業等との整理を検討すべきセンター事業

1 女性の健康支援

事業内容	重複事業等	現状のすみわけ
専門的知見をもった指導者による女性特有の健康課題に対応するフィットネスプログラムを提供（産後ケア、骨盤底筋体操、女性のがん手術後のリハビリ体操 他）	行政の健康支援の講座・教室 民間事業者の講座・教室	女性の健康課題に特化した講座を実施

2 DV相談

事業内容	重複事業等	現状のすみわけ
横浜市DV相談支援センターとしての相談業務	DV相談支援センター（統括）と相談時間が一部重複	男女共同参画・ジェンダーの視点を持った専門性のある相談員を配置。平日夜間、土日祝日はセンターのみ対応

3 男性の家事育児参加支援

事業内容	重複事業等	現状のすみわけ
ワーク・ライフ・バランス支援事業（男性育休取得促進に向けた講座、パパと子供のための企画・場の提供 他）	こども青少年局事業（ワーク・ライフ・バランスの普及・啓発、父親育児支援）	なし

令和５年度男女共同参画推進協会事業報告書

(単位:人) (単位:円) (単位:円)										
事業名	タイトル		定員	参加者数	講師等	収入実績	支出実績	施設	備考	分類
1 情報事業	男女共同参画に関わる資料の収集・提供と情報ライブラリ受付サービス		-	-	-	-	7,609,667	セ横		情報事業
1 情報事業	図書資料の利用促進		-	-	-	-	128,000	セ横		情報事業
1 情報事業	女性のためのフォーラムミニライブラリ（アウトリーチ型）		-	-	-	-	-	セ横		情報事業
1 情報事業	活動支援（場の提供）		-	-	-	228,350	-	セ横		情報事業
1 情報事業	若年世代にむけた男女共同参画関連情報の活用をすすめるリソースセンター事業		中学生・高校生各10人程度	-	山本千晶（フェリス女学院大学准教授）・関口洋平（フェリス女学院大学助教）、大学院生	-	61,500	セ横		直接支援
1 情報事業	映像サロン「瀬戸内寂聴 99年生きて思うこと」		各120人	270	-	243,100	198,000	セ横		情報事業
1 情報事業	ブックフェア「Update！いま、学びなおしたい性の話」展		-	-	-	-	52,000	セ横		情報事業
1 情報事業	資料室・交流ラウンジの運営【男女共同参画に関わる図書資料の提供と受付サービス（展示含む）】		-	-	-	-	178,760	セ南		情報事業
1 情報事業	活動支援(場の提供)【活動交流コーナー、チラシ受け入れ】		-	-	-	112,250	-	セ南		情報事業
1 情報事業	交流ラウンジ・図書コーナーの運営【男女共同参画推進に関わる図書資料の提供と受付サービス】		-	-	-	-		セ北		情報事業
1 情報事業	交流ラウンジ・活動の場【場の提供】		-	-	-	173,800		セ北		情報事業
2 調査研究・事業開発	女性起業家たまご塾 第3回修了者調査		-	-	-	-	200,000	セ横		調査研究
2 調査研究・事業開発	「ユースフレンドリーな男女共同参画センター」を可視化するためのダイアログ		-	8	櫻井彩乃（ジェンカレ代表）	-	80,000	セ南		調査研究
2 調査研究・事業開発	「ガールズ編しごと準備講座」「めぐカフェ就労体験」修了者調査		-	-	-	-	382,000	セ南		調査研究
2 調査研究・事業開発	男女共同参画センターにおける男性向け事業の検討会		-	30	池田浩久（ババライフサポート代表）、清田隆之（恋バナ収集ユニット「桃山商事」代表）、中村正（立命館大学教授）	-		セ北		調査研究
3 広報啓発事業	研修講師派遣事業		-	1,634	協会職員	192,320	-	セ横		直接支援
3 広報啓発事業	女性起業UPルームの専用Webサイトの運営とメルマガの配信		-	-	-	-	366,660	セ横		広報啓発
3 広報啓発事業	理科っておもしろい！女の子のための実験教室		第1回18人、第2回24人	42	早武真理子（水産庁長官任命お魚かたりべ）、佐藤友美（横浜市立大学理学部教授）	-	-	セ横		直接支援
3 広報啓発事業	男女共同参画の視点を取り入れた防災研修		-	65	浅野富美枝、浅野幸子、和泉禮子、浦山絵里、高橋聖子	-	-	セ横		直接支援
3 広報啓発事業	男女共同参画啓発キャンペーン		-	-	-	-	-	セ横		広報啓発
3 広報啓発事業	オンラインセミナー「職場のパワハラを科学する～いま管理職ができること」		25	37	津野 香奈美(神奈川県立保健福祉大学 大学院ヘルスイノベーション研究科准教授)	-	50,000	セ横	30事業所	取組支援
3 広報啓発事業	女性への暴力防止啓発キャンペーン（女性への暴力防止啓発展示）		-	-	-	-	-	セ横		広報啓発

3	広報啓発事業	男女共同参画の視点を取り入れた防災研修		80	65	浅野富美枝（宮城学院女子大 学生生活環境科学研究所所 員）・浅野幸子 （減災と男女共同参画 研修推 進センター共同代表）・和泉 禮子（旭区東希望が丘小学校 地域防災拠点運営委員長）・ 浦山絵里（ひとづくり工房 esuco代表）・高橋聖 子（インクルラボ代表）	752, 675	460, 000	セ横		直接支援
3	広報啓発事業	～自分軸で考えよう～Z世代・ジェンダーとからだの話 【共催】		200	98	藤井サチ（モデル）、長田杏 奈 （ライター）、小野寺真奈美 （女性医療クリニックLUNA横 浜元町 副院長）	1, 092, 900	955, 351	セ横		直接支援
3	広報啓発事業	ミモザ・ワンコインチャリティーワークショップ		30	44	-	22, 000	-	セ横		直接支援
3	広報啓発事業	研修講師派遣事業		-	329	協会職員	375, 650	-	セ南		直接支援
3	広報啓発事業	ガールズ応援サイトの運営2023年度		-	-	-	-	-	セ南		広報啓発
3	広報啓発事業	理科っておもしろい！女の子のための実験教室		14	14	早武真理子 （水産庁長官任命 お魚かた りべ）	-	-	セ南		直接支援
3	広報啓発事業	男女共同参画週間啓発キャンペーン		-	-	-	-	-	セ南		広報啓発
3	広報啓発事業	男性リーダーが知っておきたい婦人科領域の基礎知識と 対処方法 ～PMS・更年期でキャリアをあきらめさせないために【オ ンライン】		30	28	吉田穂波（産婦人科医）、横 澤昌則（向洋電機土木株式会 社）、須藤一幸（株式会社 ダットウェイ）	-	50, 000	セ南		取組支援
3	広報啓発事業	女性への暴力防止啓発キャン ペーン（女性への暴力防止 啓発）		-	-	-	-	-	セ南		広報啓発
3	広報啓発事業	研修講師派遣事業		-	267	協会職員	317, 350		セ北		直接支援
3	広報啓発事業	【男女共同参画週間＆プライド月間】映画上映「リト ル・ガール」＆遠藤ま めたさんトーク		60	48	遠藤まめた（一般社団法人に じーず代表）	60, 000	69. 300	セ北	（うち招待8人）	直接支援
3	広報啓発事業	女子中学生向けウェブサイト作成講座【共催】		(1) 15 (2) 20	13	NPO法人Waffleメンバー	17, 343	26, 192	セ北		直接支援
3	広報啓発事業	アンコンシャス・バイアス理解セミ ナー～心理的安全性 の高いチーム作りのために		30	12	小林敦子（ジェンダー・ハラ スメント研究家）	26, 000	52, 561	セ北		取組支援
3	広報啓発事業	「女性への暴力防止啓発キャンペーン」期間のパープル ライトアップと図書の展示		-	-	-	-	-	セ北		広報啓発
4	相談事業(1 心 とからだと生き方の 総合相談)	自助グループ支援		-	3, 682	-	-	-		セ横920人 セ南1, 306人 セ北1, 456人	取組支援
4	相談事業(1 心 とからだと生き方の 総合相談)	電話相談・面接相談		-	3, 075	協会職員	-	-		電話相談2, 950人 面接相談125人（セ 横101、セ南8人、 セ北16人）	直接支援
4	相談事業(1 心 とからだと生き方の 総合相談)	DVを体験した女性のためのサポートグループ「さらさ」		30	27	協会職員	-	-	セ横		直接支援
4	相談事業(2 横 浜市DV相談支援セン ター)	横浜市DV相談支援センター（電話相談・面接相談・相談 証明書申請受 付・交付および保護命令申立支援）		-	-	協会職員	-	-	セ横	場所は非公開	直接支援
4	相談事業(3 男 女共同参画に関す る人権侵害相談・申出 制度)	男女共同参画に関する人権侵害相談・申出制度		-	-	専門相談員	-	740, 000	セ横		直接支援
5	講座事業(1 女 性の就業支援事業)	女性のための起業準備セミナー（ビジネスプラン編）会 場版		25	25	増田雅好（株式会社 OFFRE 代表取締役）	55, 000	19, 800	セ横		直接支援

5 講座事業(1 女性の就業支援事業)	女性のためのパソコン講座（2023年4月）		15人	49	NPO法人ITスキルサポート フォーラム所属インストラクター	583,800	606,210	セ横	事業計画書では講座名ごとの記載。コマ数・利用者数について合計値が一致すること確認済	直接支援
5 講座事業(1 女性の就業支援事業)	女性のためのパソコン講座（2023年5月）		15人	59	NPO法人ITスキルサポート フォーラム所属インストラクター	659,500	437,910	セ横		直接支援
5 講座事業(1 女性の就業支援事業)	女性のためのパソコン講座（2023年6月）		15人	59	NPO法人ITスキルサポート フォーラム所属インストラクター	703,500	474,980	セ横		直接支援
5 講座事業(1 女性の就業支援事業)	女性のためのパソコン講座（2023年7月）		15人	70	NPO法人ITスキルサポート フォーラム所属インストラクター	685,300	452,980	セ横		直接支援
5 講座事業(1 女性の就業支援事業)	女性のためのパソコン講座（2023年8月）		15人	59	NPO法人ITスキルサポート フォーラム所属インストラクター	557,500	378,510	セ横		直接支援
5 講座事業(1 女性の就業支援事業)	女性のためのパソコン講座（2023年9月）		15人	45	NPO法人ITスキルサポート フォーラム所属インストラクター	566,500	413,380	セ横		直接支援
5 講座事業(1 女性の就業支援事業)	女性のためのパソコン講座（2023年 10月）		15人	52	NPO法人ITスキルサポート フォーラム所属インストラクター	581,400	402,380	セ横		直接支援
5 講座事業(1 女性の就業支援事業)	女性のためのパソコン講座（2023年 11月）		15人	68	NPO法人ITスキルサポート フォーラム所属インストラクター	737,800	430,540	セ横		直接支援
5 講座事業(1 女性の就業支援事業)	女性のためのパソコン講座（2023年 12月）		15人	31	NPO法人ITスキルサポート フォーラム所属インストラクター	358,500	316,910	セ横		直接支援
5 講座事業(1 女性の就業支援事業)	女性のためのパソコン講座（2024年1月）		15人	55	NPO法人ITスキルサポート フォーラム所属インストラクター	500,700	418,110	セ横		直接支援
5 講座事業(1 女性の就業支援事業)	女性のためのパソコン講座（2024年2月）		15人	53	NPO法人ITスキルサポート フォーラム所属インストラクター	571,800	440,440	セ横		直接支援
5 講座事業(1 女性の就業支援事業)	女性のためのパソコン講座（2024年3月）		15人	61	NPO法人ITスキルサポート フォーラム所属インストラクター	712,000	521,950	セ横		直接支援
5 講座事業(1 女性の就業支援事業)	女性のための起業準備相談、女性起業家のためのホームページ・ブログ相談		各時間帯1人	225人	吉枝ゆき子、増田雅好（女性起業UPルームナビゲーター）	263,300	1,063,012	セ横	女性のための起業相談166人、女性起業家のためのホームページ・ブログ相談59人	直接支援

5 講座事業(1 女性の就業支援事業)	女性としごと 応援デスク	-	289	キャリアコンサルタント、NPO法人かながわ女のスペースみずら相談員ほか	-	1,078,846	セ横	キャリア・カウンセリング（190人利用）についてはコマ数のカウントなし	直接支援
5 講座事業(1 女性の就業支援事業)	女性としごと 応援デスク	-	189	キャリアコンサルタント、社会保険労務士ほか	-	791,800	セ南	キャリア・カウンセリング（83人利用）についてはコマ数のカウントなし	直接支援
5 講座事業(1 女性の就業支援事業)	女性としごと 応援デスク	-	1,588	キャリアコンサルタント、横浜市母子家庭等就業・自立支援センター 就労支援員 ほか	-	4,474,210	セ北	セ北の就活ナビゲーター相談（1161人利用）及びキャリア・カウンセリング（286人利用）はコマ数をカウントしていない	直接支援
5 講座事業(1 女性の就業支援事業)	女性起業家たまご塾第17期前期「ビジネスプラン完成コース」	16	14	増田 雅好（女性起業UPルームナビゲーター）、犬飼久恵（犬飼社労士事務所）他	440,000	398,200	セ横		直接支援
5 講座事業(1 女性の就業支援事業)	女性のための起業準備セミナーネット集客の基礎知識	25	14	吉枝ゆき子（女性起業UPルームナビゲーター）	28,600	19,800	セ横		直接支援
5 講座事業(1 女性の就業支援事業)	女性起業家たまご塾第17期後期 集客のためのHP設計コース	16	10	吉枝ゆき子（女性起業UPルームナビゲーター）	315,000	389,500	セ横		直接支援
5 講座事業(1 女性の就業支援事業)	女性のためのキャリアデザインプログラム～自分らしく描く働き方～	20	20	中谷真紀子（People Trees合同会社 最高執行責任者）	200,000	436,684	セ横		直接支援
5 講座事業(1 女性の就業支援事業)	起業フォローアップセミナー 先輩起業家体験談トークショー&交流会・ミニ相談会	35	22	増田雅好（女性起業UPルームナビゲーター）、吉枝ゆき子（女性起業UPルームナビゲーター）	39,500	54,000	セ横		直接支援
5 講座事業(1 女性の就業支援事業)	プレリーダーをどう育てる？どう活かす？【オンライン】	30	22	相原朋子（NTT東日本 執行役員）、小安美和（株式会社Will Lab代表取締役）、中谷真紀子（People Trees合同会社最高執行責任者）	0	150,000	セ横		取組支援
5 講座事業(1 女性の就業支援事業)	第27期（2023年春）「ガールズ編しごと準備講座」説明会	20人	11	協会職員	-	-	セ南		直接支援
5 講座事業(1 女性の就業支援事業)	第27期（2023年春）「ガールズ編しごと準備講座」	15人	11	工藤なお（ヨガ・インストラクター）、川口智子（演出家）、堤暢子（アサーティブネス講師）、ちゅうがんじみゆき（薬膳料理研究家）ほか	4,200	103,000	セ南		直接支援
5 講座事業(1 女性の就業支援事業)	若年無業女性の就労体験の場「めぐカフェ」運営	-	-	山本育子（コーディネーター）	3,460,000	2,713,505	セ南		直接支援
5 講座事業(1 女性の就業支援事業)	若年女性のための社会参加体験プログラム 2023	-	16	-	-	-	セ南		直接支援
5 講座事業(1 女性の就業支援事業)	第27期 めぐカフェ就労体験	-	6	協会職員、めぐカフェスタッフ	-	6,000	セ南		直接支援
5 講座事業(2 ワーク・ライフ・バランス支援事業)	パパと赤ちゃんのセルフケア（2023年度）	10組（生後210日までの赤ちゃんとはパパ／同伴はパパ1人につき赤ちゃん1人）	12	岡田令子（マドレボニータ認定産後セルフケアインストラクター）	9,300	12,000	セ横		直接支援
5 講座事業(2 ワーク・ライフ・バランス支援事業)	子育て応援ひろば「親子で楽しむ！夏遊び・冬遊び」【共催】	各回8組	41	NPO法人 Yokohama子ども応援団	4,200	-	セ横		直接支援
5 講座事業(2 ワーク・ライフ・バランス支援事業)	パパ＆ママと赤ちゃんのふれあい運動あそび【共催】	8組（24人）	6	小峯弘子（乳幼児運動指導者）	-	-	セ横		直接支援
5 講座事業(2 ワーク・ライフ・バランス支援事業)	パパと赤ちゃんで楽しむヨガとアーユルヴェーダマッサージ(2023年6月)	10組（20人）	22	金澤誓子、 HISAKO	16,650	30,000	セ横		直接支援
5 講座事業(2 ワーク・ライフ・バランス支援事業)	子育て世代による「こんな男女共同参画センターがほしい」検討会	-	8	渡邊大地（株式会社アイナロハ代表取締役）、伊吾田善行（横浜市民協働推進センター 長）	-	73,040	セ横		直接支援

5 講座事業(2 ワーク・ライフ・バ ランス支援事業)	フォーラム南太田・パパと子のひろば【共催】		各回 5組	44	NPO法人 Yokohamaこども応援団 ス タッフ	6,600	37,855	セ南	22組参加。2×22 =44と算出。	直接支援
5 講座事業(2 ワーク・ライフ・バ ランス支援事業)	パパといっしょのひろば ※収入は親子のひろばに計上		15～20 組	866	NPO法人こども応援ネットワー ク	-	104,227	セ北	433組参加。2× 433=866と算出。	直接支援
5 講座事業(2 ワーク・ライフ・バ ランス支援事業)	パパと遊ぼう～オムツっ子も水あそび♪		12組	22	NPO法人こども応援ネットワー クスタッフ	11,000	19,540	セ北	11組参加。2×11 =22と算出。	直接支援
5 講座事業(2 ワーク・ライフ・バ ランス支援事業)	はじめての保育園in横浜2023【共催】		50人	47	渡邊寛子（保育園を考える親 の会代表）、青葉区保育担当 職員、先輩ママ・パパ（同会 会 員）ほか	-	-	セ北	21組参加。	直接支援
5 講座事業(2 ワーク・ライフ・バ ランス支援事業)	みんなの育休研修～取ろう男性育休！チーム育児で家族 も仕事もハッピーに～【共催】		30人	6	江崎グリコアドバイザー	-	-	セ北		直接支援
5 講座事業(2 ワーク・ライフ・バ ランス支援事業)	パパが楽しむ子育て！絵本を楽しもう～絵本の読み方& ベストパート ナーでいるための夫婦のパートナーシッ プ～		20組	14	池田浩久（パパライフサポー ト代表）	-	26,400	セ北	7組参加。2×7＝ 14と算出。	直接支援
5 講座事業(3 心 とからだのセルフケ ア事業)	3ヵ月コース 8講座（2023年4月～6月）		22人 8講座全て	173	(1) 藤島洋子 (ヨガインストラクター) (2) 市川未来（ヨガインス トラクター） (3) 藤巻かおり (日本スポーツ協会公認ス ポーツプログラマー) (4) 関根歩（健康運動指導士） (5) 千葉直枝（日本ス ポー ツ協会公認スポーツプログラ マー) (6) 石川知子（日本ス ポーツ協会公認スポーツプロ グラマー） (7) 新井康介 (ピラティスインストラク ター) (8) 新井雅子 (ヨガインストラクター)	910,410	500,000	セ横		直接支援
5 講座事業(3 心 とからだのセルフケ ア事業)	3ヵ月コース 8講座（2023年7月～9月）		22人 8講座全て	171	(1) 藤島洋子 (ヨガインストラクター) (2) 市川未来 (ヨガインストラクター) (3) 藤巻かおり (日本スポーツ協会公認ス ポーツプログラマー) (4) 関根歩（健康運動指導 士） (5) 千葉直枝 (日本スポーツ協会公認ス ポーツプログラマー) (6) 石川知子 (日本スポーツ協会公認ス ポーツプログラマー) (7) 新井康介 (ピラティスインストラク ター) (8) 新井雅子 (ヨガインストラクター)	899,250	500,000	セ横		直接支援
5 講座事業(3 心 とからだのセルフケ ア事業)	3ヵ月コース 8講座（2023年10月～ 12月）		22人 8 講座全て	175	(1) 藤島洋子 (ヨガインストラクター) (2) 市川未来（ヨガインス トラクター） (3) 藤巻かおり (日本スポーツ協会公認ス ポーツプログラマー) (4) 関根歩（健康運動指導士） (5) 千葉直枝（日本ス ポー ツ協会公認スポーツプログラ マー) (6) 石川知子（日本ス ポーツ協会公認スポーツプロ グラマー） (7) 新井康介 (ピラティスインストラク ター) (8) 新井雅子 (ヨガインストラクター)	933,800	500,000	セ横		直接支援

5 講座事業(3 心 とからだのセルフケ ア事業)	3ヵ月コース 8講座 (2024年1月～3月)		22人 8講座全て	174	(1) 藤島洋子 (ヨガインストラクター) (2) MIKU (ヨガインストラ クター) (3) 藤巻かおり (日本スポーツ協会公認ス ポーツプログラマー) (4) 関根歩 (健康運動指導士) (5) 千葉直枝 (日本ス ポー ツ協会公認スポーツプログラ マー) (6) 石川知子 (日本ス ポーツ協会公認スポーツプロ グラマー) (7) 新井康介 (ピラティスインストラク ター) (8) Masako (ヨガインスト ラクター)	939,570	500,000	セ横		直接支援
5 講座事業(3 心 とからだのセルフケ ア事業)	6ヵ月コース 2講座 (2023年度前期)		22人 2講座全て	42	(1) 佐野利香 (ヨガインストラクター)、 (2) 林とう子 (ダンスイン ストラクター)	1,359,000	528,000	セ横		直接支援
5 講座事業(3 心 とからだのセルフケ ア事業)	6ヵ月コース 2講座 (2023年度後期)		22人 2 講座全て	45	(1) 佐野利香 (ヨガインストラクター)、 (2) 鶴原文香 (バレエイン ストラク ター)	1,386,000	528,000	セ横		直接支援
5 講座事業(3 心 とからだのセルフケ ア事業)	心とからだを整える産後のセルフケア (2023年度)		16組 (32人) (生後210日 までの赤ちゃ んとママ ／同伴はママ 1人につき赤 ちゃ ん1人)	71	岡田令子 (マドレボニータ認 定産後セルフケアインストラ ク ター)	63,410	96,000	セ横		直接支援
5 講座事業(3 心 とからだのセルフケ ア事業)	ベビーヨガ&産後のアーユルヴェーダ(2023年10月)		16組	30	HISAKO、金澤誓子 (ヨガイン ストラクター)	30,000	30,000	セ横		直接支援
5 講座事業(3 心 とからだのセルフケ ア事業)	ベビーヨガ&産後のアーユルヴェーダ(2023年8月)		16組	22	HISAKO、金澤誓子 (ヨガイン ストラクター)	35,400	30,000	セ横		直接支援
5 講座事業(3 心 とからだのセルフケ ア事業)	はたらく女性のためのストレスケア&マインドフルネス		44	35	金澤誓子、 HISAKO	34,300	30,000	セ横		直接支援
5 講座事業(3 心 とからだのセルフケ ア事業)	単発ワークショップ 女性のがん手術後のリハビリ体操		各回 22人	114	大木麻梨子 (リハビリ体操考案者)	79,800	60,000	セ南		直接支援
5 講座事業(3 心 とからだのセルフケ ア事業)	健康講座 3ヵ月コース 4講座 (2023年4月～6月)		(1) (2) (3) 各女性 22人 (4) 女性18 人	69	(1) 山形弥生 (ヨガインストラクター) (2) 石川知子 (排泄機能指 導 士) (3) 佐野利果 (ヨガ インストラクター) (4) 山形弥生 (体操講師)	431,400	255,000	セ南		直接支援
5 講座事業(3 心 とからだのセルフケ ア事業)	健康講座 3ヵ月コース 4講座 (2023年7月～9月)		(1) (2) (3) 各女性 22人 (4) 女性18 人	61	(1) 山形弥生 (ヨガ講師) (2) 石川知子 (排泄機能指導士) (3) 佐野 利果 (ヨガインストラク ター) (4) 山形弥生 (ヨガ講師)	389,400	258,000	セ南		直接支援
5 講座事業(3 心 とからだのセルフケ ア事業)	健康講座 3ヵ月コース 4講座 (2023年10月～12月)		(1) (2) (3) 各女性 25人 (4) 女性 18人	71	(1) 山形弥生 (ヨガ講師) (2) 石川知子 (排泄機能指導士) (3) 佐野利果 (ヨガ講師) (4) 山形弥生 (体操講師)	433,600	258,000	セ南		直接支援
5 講座事業(3 心 とからだのセルフケ ア事業)	健康講座 3ヵ月コース 4講座 (2024年1月～3月)		(1) (2)女 性22人 (3) 女性 25人 (4) 女性 18人	71	(1) 山形弥生 (ヨガ講師) (2) 石川知子 (排泄機能指導士) (3) 佐野利果 (ヨガ講師) (4) 山形弥生 (体操講師)	436,200	258,000	セ南		直接支援

5 講座事業(3 心とからだのセルフケア事業)	6ヵ月コース 3講座 (2023年度前期)		各22人	63	(1)南亜寿美 (牧阿佐美バレエ団員・AZUMIBALLET STUDIO主宰)、 (2) H I S A K O (ヨガインストラクター)、 (3)奥田志織 (フラダンス講師、ヨガインストラクター)	1,526,100	980,000	セ北		直接支援
5 講座事業(3 心とからだのセルフケア事業)	6ヵ月コース 3講座 (2023年度後期)		各22人	65	(1)南亜寿美 (牧阿佐美バレエ団員・AZUMIBALLET STUDIO主宰)、(2) H I S A K O (ヨガインストラクター)、(3)奥田志織 (フラダンス講師、ヨガインストラクター)	1,244,750	754,000	セ北		直接支援
5 講座事業(3 心とからだのセルフケア事業)	3ヵ月コース 7講座 (2023年7月～9月)		各22人	139	(1)伊東真理子 (排泄機能指導士)、 (2)(6)(7)藤巻かおり (AFAA認定エアロビクスインストラクター)、(3)星野まゆら(ヨガインストラクター)、(4)富樫英輝 (NSCAパーソナルトレーナー)、(5)松永まゆ子 (NPO法人ちえぶら)	1,122,320	710,000	セ北		直接支援
5 講座事業(3 心とからだのセルフケア事業)	3ヵ月コース7講座 (2023年4月～6月)		各22人	142	(1)伊東虹理子 (排泄機能指導士)、 (2)(6)(7)藤巻かおり (AFAA認定エアロビクスインストラクター)、(3)星野まゆら (ヨガインストラクター)、 (4) 富樫英輝 (NSCAパーソナルトレーナー)、(5)松永まゆ子 (NPO法人ちえぶら)	1,126,720	720,000	セ北		直接支援
5 講座事業(3 心とからだのセルフケア事業)	3ヵ月コース7講座 (2023年10月～12月)		(1)～ (4)(6)(7)各25人、 (5)22人	150	(1)伊東真理子 (排泄機能指導士)、 (2)(6)(7)藤巻かおり (AFAA認定エアロビクスインストラクター)、(3)星野まゆら (ヨガインストラクター)、(4)富樫英輝 (NSCAパーソナルトレーナー)、(5)松永まゆ子 (NPO法人ちえぶら)	1,129,740	680,000	セ北		直接支援
5 講座事業(3 心とからだのセルフケア事業)	女性のがん手術後のセルフケア事業)		22人	193	金子真紀代 (理学療法士)	135,100		セ北		直接支援
5 講座事業(3 心とからだのセルフケア事業)	心とからだを整える産後のセルフケア事業)		16人	105	中桐昌子 (マドレボニータ認定産後セルフケアインストラクター)、萱沼道子	102,000	132,000	セ北		直接支援
5 講座事業(3 心とからだのセルフケア事業)	ベビーとヨガ～7ヵ月までの赤ちゃんとの		16組	152	HISAKO (ヨガインストラクター)	150,000	165,000	セ北		直接支援
5 講座事業(3 心とからだのセルフケア事業)	産後のケアヨガ ～1歳までの赤ちゃんとの		16組	121	十河ゆみ (キッズヨガ&ベビーヨガ指導者)	107,100	110,000	セ北		直接支援
5 講座事業(3 心とからだのセルフケア事業)	産後のヨーガはじめての保育デビュー＆ママのおしゃべりタイム【共催】		16人	9	toco (ゆったりヨーガ tocoyoga主宰)			セ北		直接支援
5 講座事業(3 心とからだのセルフケア事業)	1 月講座 6講座 (2024年1月)		各22人～25人	117	(1)伊東真理子 (排泄機能指導士)、 (2)(6)(7)藤巻かおり (AFAA認定エアロビクスインストラクター)、 (3)星野まゆら (ヨガインストラクター)、(4)富樫英輝 (NSCAパーソナルトレーナー)、(5)松永まゆ子 (NPO法人ちえぶら)	360,640	230,000	セ北		直接支援
5 講座事業(3 心とからだのセルフケア事業)	3月講座 4講座 (2024年3月)		各22人～25人	75人	(1)伊東真理子 (排泄機能指導士)、(3)星野まゆら(ヨガインストラクター)、(4)富樫英輝 (NSCAパーソナルトレーナー)、(5)松永まゆ子 (NPO法人ちえぶら)	177,550	120,000	セ北		直接支援
5 講座事業(4 女性への暴力防止と被害者支援事業)	女性のためのこころのケア講座～ DV・モラハラ・トラウマを理解する～		25	287	NPO法人レジリエンス	170,400	180,000	セ横		直接支援

5 講座事業(4 女性への暴力防止と被害者支援事業)	女性50代からの生活設計&法律講座～夫婦関係を見直したいあなたへ～【生活設計編】		30	42	大矢さよ子（わくわくシニアシングルス代表）	48,000	27,000	セ横		直接支援
5 講座事業(4 女性への暴力防止と被害者支援事業)	デートDV予防・啓発事業 管理職／教職員向けオンラインセミナー		なし（オンライン配信のため）	243	協会職員 【管理職向け研修】、 西山さつき （NPO法人レジリエンス） 【教職員向け研修】	-	331,000	セ横	（管理職向け研修167人、教職員向け76人）	直接支援
5 講座事業(4 女性への暴力防止と被害者支援事業)	女性50代からの生活設計&法律講座～夫婦関係を見直したいあなたへ～【法律編】		30	47	若松みずき（弁護士）	55,200	27,000	セ横		直接支援
5 講座事業(4 女性への暴力防止と被害者支援事業)	【横浜市・NPO法人連携デートDV防止横浜モデル事業】デートDV防止啓発出前ワークショップ		1枠30人 ～150人程度	2,635	認定NPO法人エンパワメントかながわスタッフ	-	1,171,600	セ横		直接支援
5 講座事業(4 女性への暴力防止と被害者支援事業)	LINEによる「デートDV予防啓発フォローアップチャット」		-	12	協会職員	-	33,000	セ横	相談問合5、情報発信7	直接支援
5 講座事業(4 女性への暴力防止と被害者支援事業)	女性のための護身術 WEN-D0 ～ 10歳から大人まで！		20	15	橋本明子 （WEN-D0インストラクター）	25,500	30,000	セ北		直接支援
5 講座事業(5 施設活性化事業)	フォーラム「ピアノ・レッスンの夜」		各回1～ 380人	414	-	404,800	-	セ横		対象外
6 協働連携事業 (1 市民グループ等とのネットワーク形成事業)	2023年度 公募型男女共同参画事業（募集・選考）		-	-	-	-	-	セ横		対象外
6 協働連携事業 (1 市民グループ等とのネットワーク形成事業)	2023年度公募型男女共同参画事業（募集・選考）						15,000	セ北		対象外
6 協働連携事業 (1 市民グループ等とのネットワーク形成事業)	【公募型男女共同参画事業】映像とトークで乳がんを考える～「医療ラブコメ劇場 プレ恋」上映会&シェアトーク			28	THE RABBITS' BASE 鹽野佐和子	-	-	セ横		直接支援
6 協働連携事業 (1 市民グループ等とのネットワーク形成事業)	【公募型男女共同参画事業】生きづらさを抱えた女性の自立につながるミニセミナー		20	27	ハッピーブロムナード	-	-	セ横		取組支援
6 協働連携事業 (1 市民グループ等とのネットワーク形成事業)	【公募型男女共同参画事業】困難な時代を生き抜く女性のためのIT活用をした働き方講座		20	29	ウーマンネットアカデミー&コンサルティングメンバー			セ北		取組支援
6 協働連携事業 (1 市民グループ等とのネットワーク形成事業)	【公募型男女共同参画事業】がん哲学外来榎野興夫先生講演会「賢明 な寛容～愛に溢れた雰囲気～」＋おしゃべりカフェ		50	46	榎野興夫（順天堂大学名誉教授）			セ北		取組支援
6 協働連携事業 (2 多様な主体との協働事業)	一時保育		20	248	NPO法人 Yokohamaこども応援団	216,900	3,600,516	セ横		直接支援
6 協働連携事業 (2 多様な主体との協働事業)	おやこのひろば・木曜ひろば【共催】		10組	188	NPO法人 Yokohamaこども応援団	26,100	30,000	セ横		直接支援
6 協働連携事業 (2 多様な主体との協働事業)	第32回アディクションセミナーin YOKOHAMA【共催】		350人	380	自助グループメンバー	-	-	セ横		直接支援
6 協働連携事業 (2 多様な主体との協働事業)	環境講演会【共催】		200	150	鴨川仁（静岡県立大学グローバル地域センター特任教授）	-	-	セ横		直接支援
6 協働連携事業 (2 多様な主体との協働事業)	フォーラム南太田マルシェ（地モノやさしい市&手づくり市）【共催】		年間55店舗	46	-	32,200	-	セ南	46店舗	直接支援
6 協働連携事業 (2 多様な主体との協働事業)	一時保育		-	155	-	138,700	2,047,760	セ南		直接支援
6 協働連携事業 (2 多様な主体との協働事業)	南区子どもの居場所づくりネットワーク【協力】2023		-	-	-	-	-	セ南		取組支援

6 協働連携事業 (2 多様な主体との協働事業)	みなみ～な広場【共催】		各回 40人	212	-	27,700	-	セ南	212世帯	直接支援
6 協働連携事業 (2 多様な主体との協働事業)	一時保育 ※親子のひろば収支を含む		18	336	-	892,600	7,323,580	セ北		直接支援
6 協働連携事業 (2 多様な主体との協働事業)	親子のひろば		-	2444	-	-	-	セ北	1222組参加。1222×2=2444人と算出	直接支援
6 協働連携事業 (2 多様な主体との協働事業)	新鮮野菜のプチ市場【共催】			72	横浜ベジフルレディ会員			セ北		直接支援
6 協働連携事業 (2 多様な主体との協働事業)	親子のひろば「ひろばdeアート」【共催】		24組	44	NPO法人こども応援ネットワークスタッフ			セ北	22組参加。2×22=44と算出。	直接支援
6 協働連携事業 (3 横浜市民ギャラリーあざみ野との協働事業)	Welcome !アートフォーラムあざみ野ロビーコンサート【共催】		-	882	オフィスバルーン、横浜市民広間演奏会他	-		セ北		直接支援
6 協働連携事業 (3 横浜市民ギャラリーあざみ野との協働事業)	あざみ野サロンvol.77映画上映「波紋」【共催】		180人	219		218,000	143,000	セ北		直接支援
6 協働連携事業 (3 横浜市民ギャラリーあざみ野との協働事業)	あざみ野サロンvol.78「ジェンダーXアート～アニメのヒーロー&ヒロインからみるジェンダー意識」【共催】		50人	22	須川亜紀子（横浜国立大学大学院都市イノベーション研究院教授）	26,400	40,000	セ北		直接支援

令和5年度事業報告（男女センター主催事業 利用者数集計）

館名	開館日数	総来館者数	有料施設 利用者数	男女共同参画センター自主事業等				
				講座等	自助 グループ	総合相談 電話	総合相談 面接	自主事業等 計
横浜	348	233,618	91,962	9,039	920	2,950	101	13,010
横浜南	348	125,784	74,128	1,455	1,306	0	8	2,769
横浜北	306	241,507	80,107	8,353	1,456	0	16	9,825
計		600,909	246,197	18,847	3,682	2,950	125	25,604

令和6年度 収支予算書

横浜市男女共同参画センター(3館)

【収入】

(単位:千円)

科目	金額	内訳		
		横浜	横浜南	横浜北
1 事業収入	37,658	21,059	5,888	10,711
情報事業収入	778	502	126	150
調査研究・事業開発事業収入	0	0	0	0
広報啓発事業収入	962	506	238	218
相談事業収入	0	0	0	0
講座事業収入	34,493	19,756	5,459	9,278
協働連携事業収入	1,425	295	65	1,065
2 事業受託収入	0	0	0	0
3 助成金収入	1,050	1,000	0	50
4 指定管理料	584,954	316,994	110,822	157,138
5 施設利用料収入	57,307	20,196	11,074	26,037
6 寄附金収入	492	100	370	22
7 雑収入	3,750	2,400	750	600
8 退職給付引当資産取崩収入	0	0	0	0
合計	685,211	361,749	128,904	194,558

【支出】

科目	現計予算	内訳		
		横浜	横浜南	横浜北
1 事業費	685,211	361,749	128,904	194,558
情報事業費	8,954	7,924	270	760
調査研究・事業開発費	124	0	124	0
広報啓発事業費	2,833	2,015	293	525
相談事業費	4,196	3,857	81	258
講座事業費	33,081	17,072	5,449	10,560
協働連携事業費	14,044	3,719	1,833	8,492
施設管理運営費	281,168	134,477	56,618	90,073
固定資産取得支出	2,930	1,580	510	840
減価償却引当資産取得支出	4,960	2,715	845	1,400
人件費(退職給付引当資産取得支出含む)	332,921	188,390	62,881	81,650
合計	685,211	361,749	128,904	194,558

(注) 収入・支出内訳欄
横浜: 男女共同参画センター横浜、横浜南: 男女共同参画センター横浜南、横浜北: 男女共同参画センター横浜北で表示

令和6年度 収支予算書
男女共同参画センター横浜

【収入】

(単位:千円)

科目	金額
1 事業収入	21,059
情報事業収入	502
調査研究・事業開発事業収入	0
広報啓発事業収入	506
相談事業収入	0
講座事業収入	19,756
協働連携事業収入	295
2 事業受託収入	0
3 助成金収入	1,000
4 指定管理料	316,994
5 施設利用料収入	20,196
6 寄附金収入	100
7 雑収入	2,400
8 退職給付引当資産取崩収入	0
合計	361,749

【支出】

科目	金額
1 事業費	
情報事業費	7,924
調査研究・事業開発費	0
広報啓発事業費	2,015
相談事業費	3,857
講座事業費	17,072
協働連携事業費	3,719
施設管理運営費	134,477
固定資産取得支出	1,580
減価償却引当資産取得支出	2,715
人件費(退職給付引当資産取得支出含む)	188,390
合計	361,749

令和6年度 収支予算書
男女共同参画センター横浜南

【収入】

(単位: 千円)

科目	金額
1 事業収入	5,888
情報事業収入	126
調査研究・事業開発事業収入	0
広報啓発事業収入	238
相談事業収入	0
講座事業収入	5,459
協働連携事業収入	65
2 事業受託収入	0
3 助成金収入	0
4 指定管理料	110,822
5 施設利用料収入	11,074
6 寄附金収入	370
7 雑収入	750
8 退職給付引当資産取崩収入	0
合計	128,904

【支出】

科目	金額
1 事業費	
情報事業費	270
調査研究・事業開発費	124
広報啓発事業費	293
相談事業費	81
講座事業費	5,449
協働連携事業費	1,833
施設管理運営費	56,618
固定資産取得支出	510
減価償却引当資産取得支出	845
人件費(退職給付引当資産取得支出含む)	62,881
合計	128,904

令和6年度 収支予算書
男女共同参画センター横浜北

【収入】

(単位: 千円)

科目	金額
1 事業収入	10,711
情報事業収入	150
調査研究・事業開発事業収入	0
広報啓発事業収入	218
相談事業収入	0
講座事業収入	9,278
協働連携事業収入	1,065
2 事業受託収入	0
3 助成金収入	50
4 指定管理料	157,138
5 施設利用料収入	26,037
6 寄附金収入	22
7 雑収入	600
8 退職給付引当資産取崩収入	0
合計	194,558

【支出】

科目	金額
1 事業費	
情報事業費	760
調査研究・事業開発費	0
広報啓発事業費	525
相談事業費	258
講座事業費	10,560
協働連携事業費	8,492
施設管理運営費	90,073
固定資産取得支出	840
減価償却引当資産取得支出	1,400
人件費(退職給付引当資産取得支出含む)	81,650
合計	194,558